

## 尾ノ上の風 III

第5号



学ぶ きたえる 助け合う

文責：校長 村上 正祐

## 戸口家庭訪問、お世話になりました

GW前に家庭訪問を行いました。新型コロナの感染防止のため、戸口訪問で5分程度と短い時間でしたが、担任の先生方からは「短い時間だけど、実際に保護者の方と会って話できたのはとてもよかった」「通学路の途中の様子がわかってよかった」「近所にいる友達が誰なのか把握できたのもよかった」という感想が聞かれました。

そもそも家庭訪問の目的は、保護者の方と担任が顔見知りになり、お互いに相談したり情報提供をしたりしやすくなる関係をつくることにあります。

9日が終わるとゴールデンウィークも完全に終わり、新学期で張り切っていた子どもたちに変化が表れてくる時期に入ってきます。ご家庭と学校・担任と情報交換しながら、子どもたちの生活習慣、学習環境が整うよう連携していきたいと思えます。

（この記事は本来4号に掲載予定でしたが、運動会の変更のお知らせを優先して差し替えたためやや遅くなりました。すみません。）

## 楽しかった 歓迎遠足



みんなで大きな円になって  
ランチタイム

4月30日（金）に歓迎遠足を行いました。当日は、まず計画委員会の子どもたちが中心になってオンラインで歓迎集会を行いました。各学年から1年生に向けたメッセージビデオは、それぞれの学年で工夫して編集してあり、1年生がにっこりと笑顔になるような内容になっていました。1年生の教室を回るとニコニコした顔がたくさん見られました。その後、1年生と6年生は錦ヶ丘公園へ、2年生から5年生までは動植物園へ出かけて楽しいひとときを過ごしました。6年生と1年生が遊ぶ姿は本当に微笑ましい限りでした。

途中、天気の流れが心配されましたが、何とか天候も持ちこたえていい交流ができました。

## 学校からの連絡プリントはロイロノートなどで配信します

### 学校だより、給食献立、保健室からなど学校の通信など

学校からのプリントは大変多く、年間の紙の使用量は膨大になります。そうした使用量を節約し、その他のものに予算を使いたいというねらいと、給食や保健室からの印刷物はカラーであればもっと見やすくなるという利点からデジタルで配信します。昨年度3月から印刷物と併せて、試験的にロイロノートでも配信してきました。本年度になってからは、1年生を除く2年生以上では授業や家庭でも活用が始まっており子どもたちも慣れてきたようです。

保護者の皆様には、お子様が使うタブレットを1週間に1度は見て、触っていただきたい目的もあります。授業参観などはオンラインでの実施の可能性があることから是非慣れていただきたいと思えます。もちろん、目的によっては紙がいい場合は印刷してお配りします。また、1年生はタブレットに慣れて自宅に持ち帰る準備が整ったら開始する予定です。